

# 東由利村報

No. 115 1967.2.1

発行  
東由利村役場  
毎月1日発行  
定価1部5円  
印刷  
KK本間印刷所

## 衆議院議員選挙結果

### 東由利村分

投票総数	3,727
有効	3,678
無効	49
1 斎藤憲三	1,642
2 笹山茂太郎	676
3 栗林三郎	514
4 川俣清音	505
5 根本竜太郎	282
6 鈴木義雄	59
投票率	78.79



### 第1回村議会臨時会

## 職員給与条例を改正

### 国家公務員に準じて引上げ

1月12日東由利村議会臨時会が招集された。

▷議案第1号、一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

#### 提案理由の説明

昨年12月21日公布の国家公務員の給与の引上げに準じて地方公務員の給与の改訂によるもので、平均6%の引上げであり、これに伴い諸手当も引上げられる。

(原案どおり可決)

▷議案第2号 昭和41年度東由利村一般会計補正予算

#### 提案理由の説明

今回の追加補正は総額170万8千円で、その主たるもののは給与改訂によるものと、衆議院議員の選挙費50万円の追加である。

財源は、選挙費委託金50万円と地方交付税を見込んでいます。(原案どおり可決)

以上をもって本会議をおわる。

#### 議員協議会

42年度予算編成に対する意見を聞くために、午前11時より協議会を開いた。

#### 意見のまとめ

▷村民の所得を高めるために  
○県道・村道・林道・牧道・農道・橋の整備  
○産業の振興

米・林業・酪農・畜産・養蚕・たばこの増産・開田)

▷教育民生

村づくりに役立つ人づくり  
学校統合・高血圧対策

○ ○ ○

## 八郎潟中央干拓

### 予定地へ

第2次入植を希望される方は調書を提出しなければならないので2月10日まで役場係までおいで下さい。



## 村の守り

### 42年消防出初式

新年恒例の村消防団の出初式は1月6日団員300名が参加して老方小学校々庭で行われた。

村長の訓辞・議會議長・郡福祉事務所長・郡支部長・校長会長のあいさつがあり、表彰状・感謝状が贈られた。表彰を受けた団体個人は次のとおり

#### 知事表彰

有功章、副団長・太田千代三

20年勤続、遠藤熊太郎外12名

消防施設協力者

小松彦三郎(山崎)長谷山政

太郎(湯出野)大庭時雄(舟

東由利商業協組誕生  
村内の小売店の有志24名は良い品を安く消費者に提供しようと東由利商業協同組合を組織し、1月17日知事の認可を受けた。初代理事長には川尻幾郎氏が選ばれた。

出初式

少年消防クラブ表彰

木)

県協会長表彰

15年勤続、小松兵亮外24名

10年〃 古閑三郎外7名

村長表彰

模範団員、阿部民雄外14名

感謝状(41年3月以降退職分

団長)佐藤留吉外6名

少年消防クラブ表彰

横渡少年消防クラブ

団長表彰

甲種精勤表彰

佐藤秀也外21名

乙種精勤表彰

鎌田栄一外17名

## 「家庭の日」に

### 商工会の協力

東由利村商工会では、婦人会長の要請をいれ、1月21日の役員会で毎月家庭の日の前

日を安売り日として、家庭の日の実施に協力することに決めたからご利用下さい」とのことです。

# 郷土史夜話

## ④ 芦名太郎清氏

室町戦国期から豊臣秀吉の時代にかけて、本村は由利十二頭に数えられている玉米小笠原氏と下村小笠原氏がいて支配していたことは大体明らかであるが、その時代以前になるとだれがどのように支配してきたのかと見当がつかない。

本荘市子吉出身の阿部竜夫先生が著わした「我等の郷土由利の面影」によると由利維友（八郎維平と同一人物と考えられる。維平は由利郡を領して平泉藤原氏の支配下にあり、文治5年源頼朝の奥州征伐にあって捕えられたが許され、本領を安どした）が文治3年由利地頭に補され、成瀬館を本城として領内12カ所に支城を設け陣代を置いた。平沢の由利将監維義・岩谷元館の岩谷監物武信・大野の由利志摩介維忠・天鷺の由利彈正維知・新城の新城藏人秀生・大正寺新波の大正寺維季・根代の根代大毅維茂・川大内須山の川大内桂

之助高衡・曲沢の津久井五郎行氏・城内の城内中務維張とともに下村の芦名太郎（あるいは平太郎）清氏の名もあり、これを由利十二陣代といったという。

由利維友と維平の名の相違が示すごとく、この十二陣のことも由利氏の異説として扱われているもので、はたして芦名太郎清氏なるものが実在したかどうか確証はないが、ともかくもわが村に関係した人物といふとこの人一人しかいない。

これから推測すると由利氏が盛んだった頃は本村はその勢力下にあったろうが鎌倉中・末期から南北朝、室町前期にかけて、由利氏没落後は郡内には絶対的領主がなく、小豪族が各地に割拠していたらしいので果してだれが支配したのか、まったくナゾの時代になっている。

ともあれ高館山の高館、上里の館の内、石高など主不明の館跡と伝えられる所が数カ所あり、これらはこの時代の陣代として、あるいは直接支配者の拠点でなかつたろうかと想像されるだけである。【正】

## 酪農民大会

この日はまれに見る猛吹雪であったが、酪農振興のかたい決意を胸に70余名の同志が参加した。

米以外の収入源の大宗であり、酪農によって出稼にたよらない農家も出来つつあり、村としても大きな希望をつないでいる人々の集りにふさわしい大会であった。

### 優良酪農家表彰

小野三郎（下吹）、佐藤与吉（蘿沢）、小松藤吉（黒沢）祝辞、村長・議長・玉米農協長・長沢毅・小松真一・郡農林事務所皆川課長補佐

### 酪農経営発表



酪農経営発表

1月14日東由利村酪農民大会が役場で行われた。

小松ミツ子（黒沢）佐藤スミ子（黒沢）

### 議事

- 1、酪農振興を沮害する基本問題（経営智識の向上、基本乳価の確保）
- 2、粗飼料確保の合理化（牧場の整備・経営の機械化・草地の維持管理）
- 3、集乳問題（法内・黒沢地区の集乳・乳質改善）
- 4、乳用牛の改良

### 宣言

…原料乳の不足払制度が実施され、停滯気味であった酪農が又一段と活気を呈して来たことを機会に本大会を開き、団結によって自からの活路を開く決意を新たにすると共に村当局を始め諸団体のご支援により、酪農経営の安定をはかるため勇猛邁進することを宣言す。（要旨）

## 郵便局だより

### 呼出しはゼビ番号で

#### ▷お年玉つき年賀はがき

賞品交換期間、1月20日～7月19日、なるべく早くおとりかえ下さい。

#### ▷残つた年賀はがき

今年から年賀はがきの低料扱いがなくなったので、お年玉つき年賀はがきも一般的な年賀はがきと同様7円（8円のものは1円が寄付金）になったのでいつでもそのままつかえます。

#### ▷電話の呼び出しはゼビ番号で

老方局の電話交換台はこれまでの単式から複式になり、1月23日切換式をあげ、1月から男子の交換手（事務員）増配して、皆様の応答をより早く、より正しくすることにつとめています。

それについて、電話の呼び出しは必ずしも番号にして下さい。加入者以外の人の名や、昔の家の名などで呼び出されたのではさがすに手間どったりさがし兼ねたりするのでどうぞご協力ねがいます。

#### ▷1年の計は郵便貯金にあり

今年も皆様の家計は郵便局におまかせ下さい。

半年複利・無税・安全・貯蓄の王様『定額貯金』

お子さんの進入学・就職記念に『積立貯金』

お財布がわりに『通常貯金』

### ▷簡易保険のおすすめ

年のはじめの生活設計のために手軽に加入出来る郵便局の簡易保険をおすすめします

## 2月中の免許試験

1、免許種別、原付免許（50cc以下）小型特殊免許

2、申請の受付期間、2月6日から21日まで

3、試験期日、2月24日

4、試験の場所と時刻  
場所、本荘警察署

法令から受ける人午前9時  
適正試験だけ 午後2時

5、申請に必要なもの

①免許用写真2枚（申請前6月以内に写したもの）

②住民票1通（免許証ある人は必ず提出）

③申請手数料、証紙300円

④印かん

## 田代養蚕集落

### 自ら立てる人々

米プラス何か？ というけれど、それを見つけることは容易でない。見つけても成功するまでの努力は並々のことではない。

沼の養蚕事業をくわしく調べた田代の有志達は「これだと決心した。

いろいろ苦心して準備を進め役場の構造改善係に相談した結果、県の「農業近代化パイロット集落設置事業」に乗せてもらうことになり、1月11日県の養蚕指導所長外2名が田代に来て話し合いの結果希望者14名で組合をつくり、今年から2カ年で完了の予定で事業を始めることになった場所、田代字ヨシヤチ10ha事業費1千万円5割県補助残り500万円の8割低利融資自己資金100万円

# 第7回定例村議会

## 40年度決算を認定

第7回東由利村定例議会は12月21日から3日間の会期により、一般質問と議案5件、陳情4件が審議された。

一般質問では5人の議員から、学校の統廃合・村民所得下郷中学校生徒の冬季下宿補助・公民館の建設・過年度滞納の一掃などについて質問が行われた。

### 昭和41年度歳入歳出決算の認定

総務委員会に付託、22、23日の2日間にわたり常任委員会に於て審査、常任委員長報告どおり原案認定。

歳入歳出の重なもの（図表参照）

歳入 193,826千円

内訳、村税23,519、繰入金22

,925、財産収入14,402、地方交付税67,601、県支出金40,9

34、村債10,200

歳出184,606千円

内訳、議会費5,088、総務費38,606、農林水産業費71,489土木費25,577、教育費20,608

### 一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ983千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ16,8803千円とする。

### 東由利村国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出をそれぞれ7,486千

円を追加し総額を39,316千円とする。

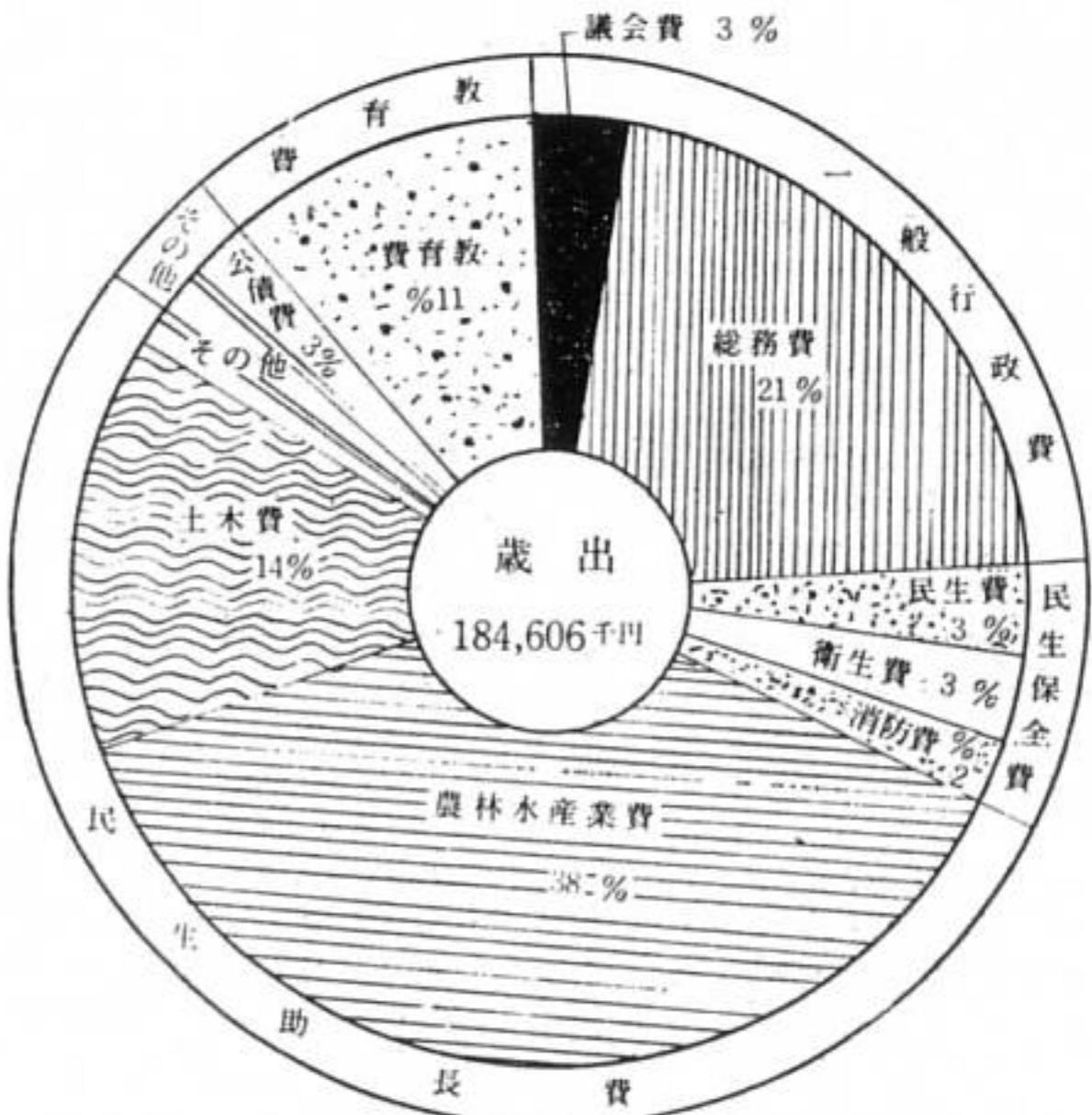
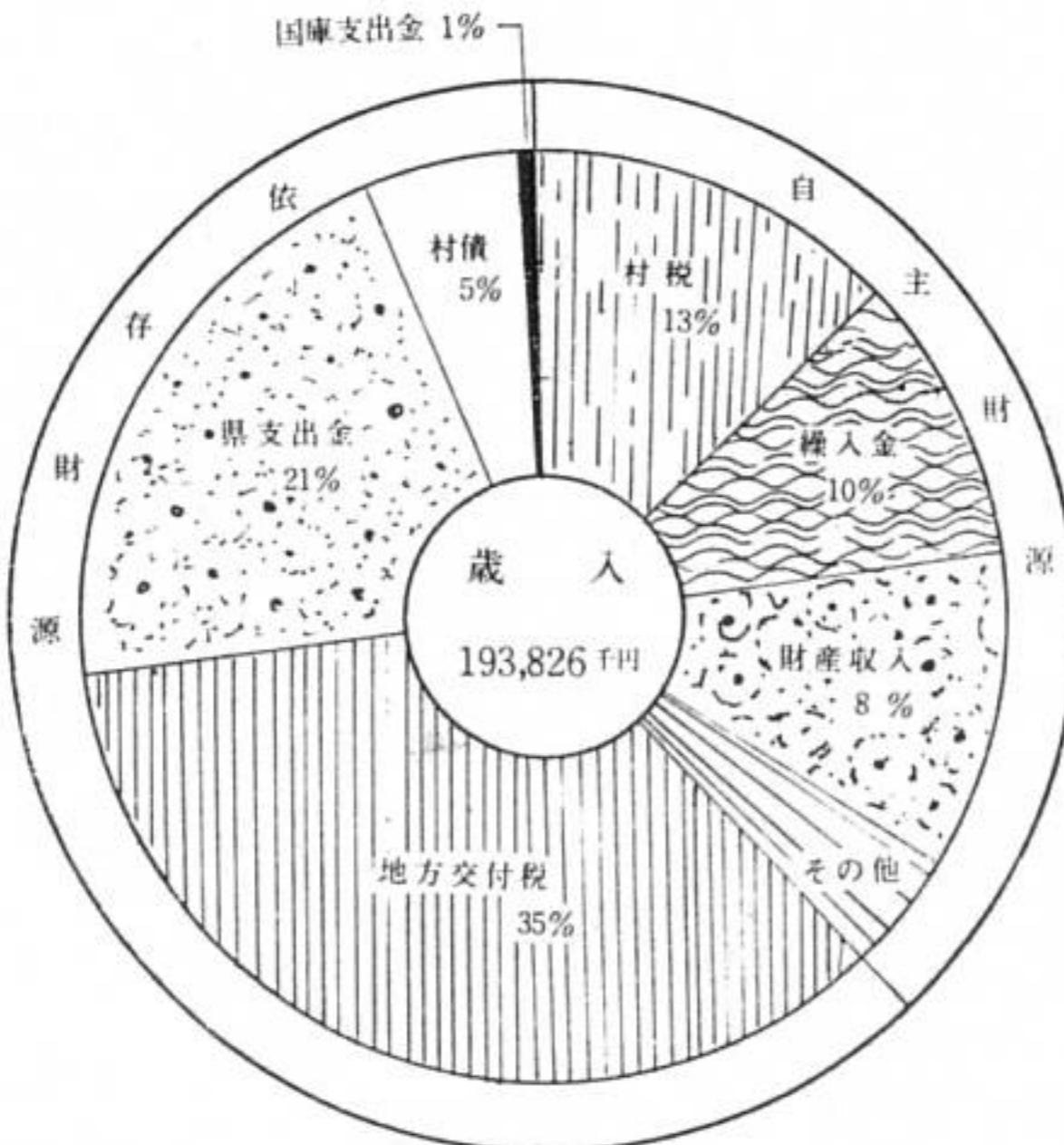
### 黒淵診療所特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額からそれぞれ533千円を減額し、総額を607千円とする。

### 陳情4件

村道新町線の一部拡幅  
越冬見まい金の支給（秋田療養所入療者）  
下通児童館建設  
本荘市由利郡教育振興施策  
4件共採択

昭和四十年度決算



昭和41年度

## 優良赤ちゃん表彰

昭和41年度優良赤ちゃんの表彰は、1月20日役場で行はれた。39年11月1日から40年9月30日の間に生れたもので表彰になった者は次のとおり

○

阿部豊彦、留四郎長男、沼

梅津勇康、栄一3男 大琴  
高橋寿栄、正一2男 久保  
鍬崎豊、芳造長男 家下  
阿部真由美、喜一2女、12前 上里  
小野良子、由雄2女、 新田  
高橋重保、慶助長男、 渡辺 優、己一長男、 田代

かはいい赤ちゃんたち

佐藤賢、清一郎長男、泡淵高橋康子、養一長女五海保（育児努力賞）

母畠山芳子、寺田

長男一、次男久 5月17日生

母渡辺フキ、長女明美、田代

### 小野電業社長商工業者に2千万円の融資

小野電業社長小野仁助氏は郷里の商工業者が低利の長期資金を利用して、村民の経済生活に寄与するようとの好意を以て、昨年9月、商工会を通じて2千万円の大金をボンと提供された。商工会では直に矢島信用金庫に定期預金しこれに信用金庫の自己資金を2千万円プラスし、商工业者にあっせんしている。既に利用高は52件 2,950万円に達している。商工会では更に多くの業者が利用され小野社長

のご好意に応えられるようとに望んでいる。

### 出稼の方々から

村から出稼に出ている方々は1月20日現在で664人となりましたが、今年になってから次のようにたくさんの方々からおたよりをいただいている。

村報や本荘の新山新聞店をへて村から送っている魁新報などとてもなつかしいといっています。どうぞ元気で一畠山重左工門（東京淀橋）大日向芳男（川崎市）佐々木信男外6名（東京）小松正一（東京羽田）石橋二郎外9名（和歌山県）小松昭三外15名（千葉県）小松松次郎外18名（神奈川）遠藤次雄（長野県）

若し住所がかわった場合はすぐにお知らせ下さい。



## うれしい納税競争

### 完納 29 部落

1月31日の税務課は、各部落の「納税完納競争」でテンテコ舞だ。

下の表は昨年末の成績だが、それからわづか1ヶ月、今日で次の29部落が完納した。

完納部落（完納順）

日照坂・宿・倉・茂沢・高屋

祝沢・向田・藏・島・岩館・久保・十二の前・高村・奥ヶ沢・老方上通・畠村・宮の前野田・新町・湯出野・葦沢・舟木・高戸屋・時雨山・石高老方下通・八日町・須郷田・横渡、以上29。

村税組合別納税成績表



順位の○は納期内完納

○は指定納期内完納組合です

### 41年未牛馬頭数

昭和41年度の総牛馬検査を月31日現在で次のとおりになりました。村内の牛馬頭数は12頭となりました。

種類	頭数	前年頭数
和牛	881	793
ジヤ	325	403
ホル	48	28
馬	46	78
計	1,300	1,302

### 短歌

山田礼智

#### 雪

窓高く雪は積りぬ音もなく  
なおその上に雪は降るなり  
村人は汗をふきつつ積りたる  
校舎の屋根の雪おろしする  
雪道を八塩の山に真向いて

歩みて行けり立止まりつ  
さむさむと雪を吸ひつつ流れ  
居る高瀬の川の冬の夕暮れ  
灯を消せば枕にとどく雪あか  
り窓打つ風もいつかやみおり

### 東由利村婦人集会

1月21日、今日は大寒の入日であるが、一天カラリと晴れ渡って久しぶりの青空、絶好の婦人集会びよりである。会員の出足も好調で、役場の大広間もギツシリつまり、300名をこすこれまでにない大集会となった。

村長あいさつ

村づくりはまづ健康から、健康の第一は物心両面にわたる環境の整備から、家も村も國も争いのない平和な環境をつくり上げること、これは重に婦人、特に主婦の力に負うところが多い。

村の歩みも順調で、道路・橋・構造改善・養蚕パイロット地区など生産基盤が着々ととのって来たが、700人近い出稼が出ている。

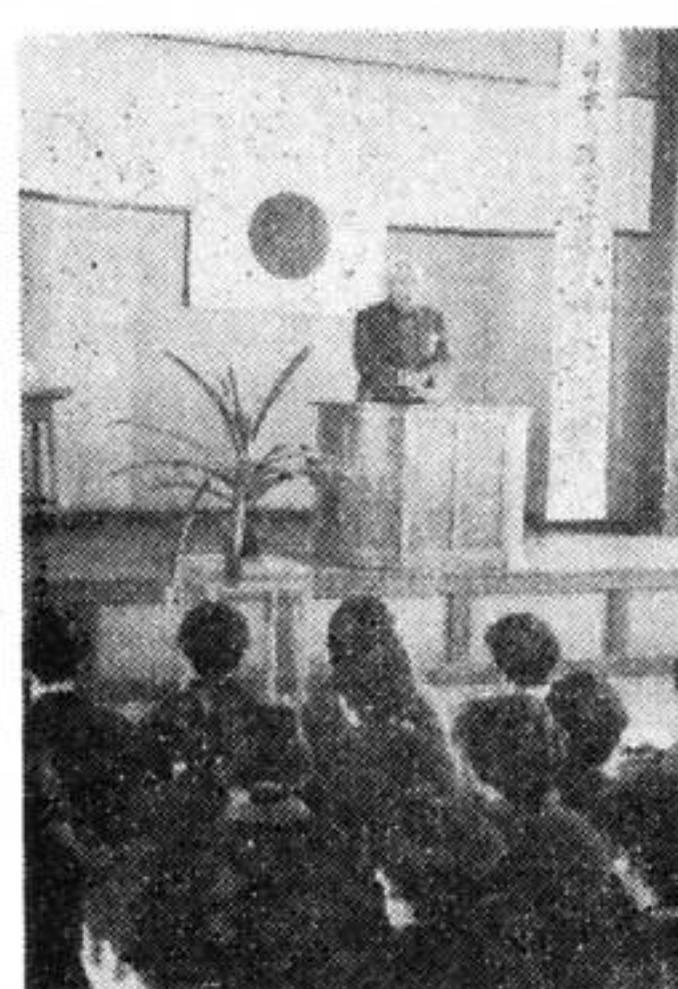
女としての教養を高め、その責任を果すために、このような集会を十分に生かしてもらいたい。

記念講演、「日本の政治姿勢と婦人の姿勢」木村与之助氏。

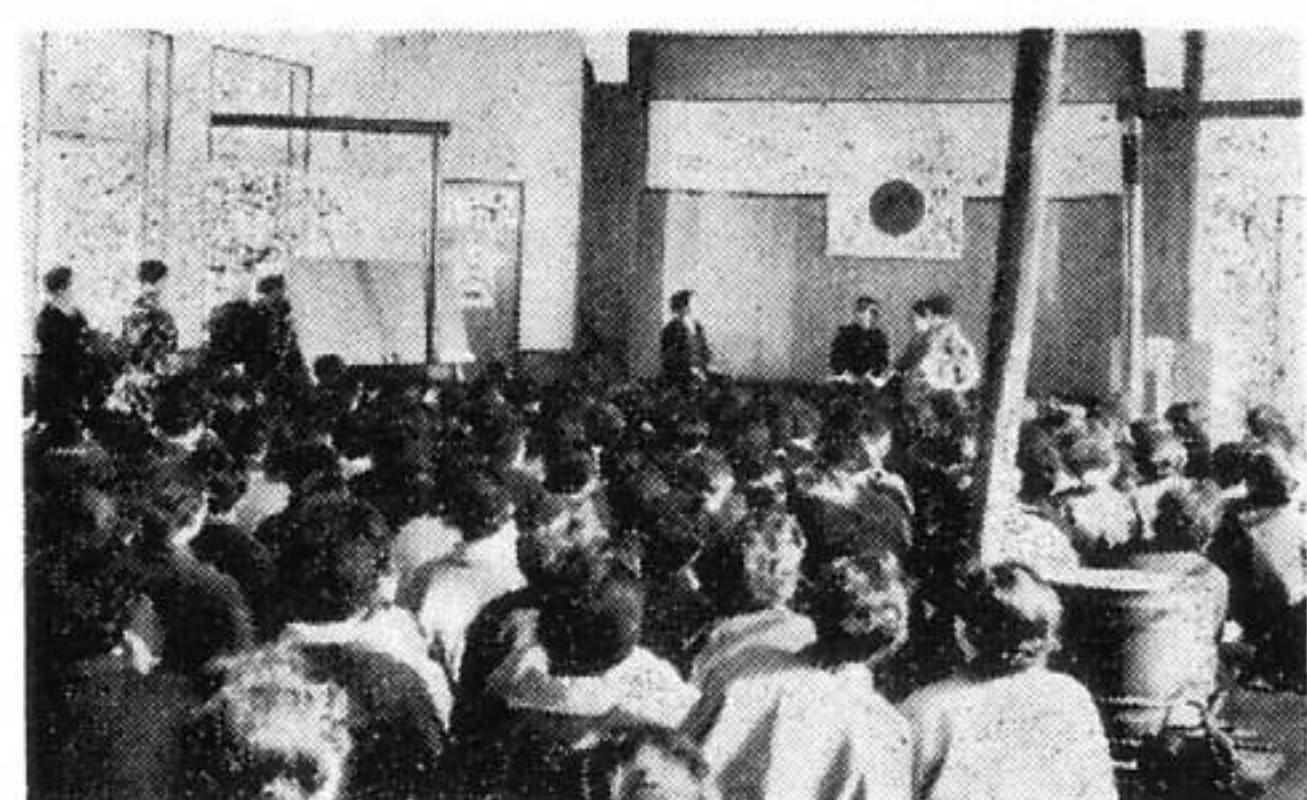
日本の政治は大衆からはなれている。しかし政治はもっと身近かなところにある。家政という。そこに政治があるのだ。政治の勉強はそこから出発して世界とのつながりによって日本の発展をはからなければならぬ。子どもとテレビを見るにも政治力を育てることを考えるべきである。

#### 芸能発表

午後は芸能発表、踊・唄・劇など、さすがに7支部から選ばれたつぶよりだけあっていづれ劣らぬ競演ぶり、拍手と爆笑の中に発表をおわり、300名の大懇親会を開いて会を閉じた。



木村与之助氏講演



婦人会員の創作げき